



▲左から、取締役総務人事部長 徳永和夫さん、人事課プランナー陶山星行さん、グロスリで働く障がい者清水聡さん、グロスリチーフ後藤雨さん。

（食料品・生活日用雑貨）鮮魚・精肉・惣菜など様々な部門で活躍しています。
 ※1 小売流通業界全体のサステナビリティ強化を目指し、発足された組織。
 九州エリアの9社の2024年1月時点が参加。

障がい者に合わせて、臨機応変に対応

障がい者は実習を経て、それぞれの特性、適正に合わせた部門へと配属されます。実習で出来ること、出来ないこと、性格などを見極めた上で配属するので大きなトラブルはありません。もちろん働き始めてから分かる特性もありますが、過去の事例などを参考に、現場ごとに柔軟な対応をしています」と人

事業主のみならず

法改正のお知らせ

Point 1 障がい者の法定雇用率が段階的に引き上げられます
 (令和6年4月以降)

	令和5年度	令和6年4月	令和8年7月
民間企業の法定雇用率	2.3%	2.5%	2.7%
対象事業主の範囲	43.5人以上	40.0人以上	37.5人以上

Point 2 除外率が引き下げられます
 (令和7年4月以降)

除外率設定業種ごとにそれぞれ10ポイント引き下げ

Point 3 障がい者雇用における障がい者の算定方式が変更となります

●精神障がい者の算定特例の延長 (令和5年4月以降)

週所定労働時間が20時間以上30時間未満の精神障がい者について、当分の間、雇入れからの期間等に関係なく、1カウントとして算定

●一部の週所定労働時間20時間未満の方の雇用率への算定 (令和6年4月以降)

週所定労働時間が10時間以上20時間未満の精神障がい者等について、0.5カウントとして算定

詳しくは右記バーコードよりご確認ください



事業プランナーの陶山さん、グロスリで障がい者と一緒に働くチーフの後藤さんも「同じ障がい者でも、同じ特性という訳ではありません。現場では性格を考慮しながら対応しています。例えば、頑張りすぎてしまう人に『もう時間になったら終わるよ』と声をかけたり、自己表現が苦手なストレスを溜め込みやすい人の様子を気にかけてたり。ほとんどの場合、それくらい小さな配慮で十分なんです」と言葉を続けます。20年間積み重ねた知識、経験は各店舗、各部門にしっかりと受け継がれているよ。」

現場ごとの対応例

- ジョブコーチの活用
「障がい者とコミュニケーションが取りにくいなど、現場スタッフから不安の声が上がったため、大分障害者職業センターにジョブコーチの派遣を依頼。障がい特性の説明、コミュニケーションの取り方、仕事の進め方などについて具体的なアドバイスをもらう。」
- 障がい者のプロフィールシートの活用
現場理解醸成のため、支援員から障がいの詳細を記載したプロフィールシートを見せてもらい、許可を得た上で現場スタッフに共有。
- 特別ルールの導入
業務の手順を覚えられない障がい者のために、在庫管理のチェック表を作成。チェックするだけで障がい者一人でも業務をこなせるような仕組みづくりを行う。今後、他の店舗でも導入を検討。

最後に、「健常者を雇用するときも性格や得手不得手に合わせて指導法を変えたいと思います。障がいに関しても同じです。その人の個性の一つだと思つて、構えず、長期的な目線でおおらかに受け入れてあげてください。少しの配慮で必ず大きな戦力になってくれると思います」と話してくれた陶山さん。

障がいではなく、障がい者本人と向き合うことでそれが障がい者雇用の可能性を拓く第一歩なのかもしれません。



企業現場

〒870-0161
 大分市明野東一丁目1番1号
 TEL.097-553-1111



株式会社 トキハインダストリー



企業の社会的責任として障がい者雇用に尽力



▲取締役総務人事部長 徳永和夫さん

県内に23店舗を構え、幅広い品揃えて私たちの生活を支えてくれている総合スーパー「トキハインダストリー」SDGsにも強い関心を寄せており、「女性管理職20%到達」「省エネ推進（電力量、昨年比96%程度で推移）」「九州流通サステナビリティ」への参加など様々な取り組みを行なっています。

もちろん、企業の社会的責任ともいえる障がい者雇用にも積極的です。過去20年間で法定雇用率を下回ったことは一度だけです。「支援学校の実習を受け入れた障がい者は、集中力が高く、繰り返し作業に向いていることがわかりました。スーパーには毎日同じ流れの中で行う繰り返し作業が多いので、大変助かっています」と話すのは人事部長の徳永さん。現在は、33名の障がい者（知的、精神、身体）が大型店舗を中心にグロスリ



お客様とやりとりがモチベーションに!

Voice

入社6年目
清水 聡さん
知的障がい
指導もこなす
中堅スタッフ

清水さんの担当業務

- グロサリー業務
ドリンクの品出し、陳列、在庫管理
- パートさんの補助
グロサリー部門は男性が少ないので力仕事を中心にサポート
- カートやカゴの管理

支援学校の現場実習でテキハインダストリーのグロサリーを経験し、卒業後に入社しました。今はグロサリーで、主にドリンクの陳列や在庫管理を行っています。楽しいのはお客様とのやり取り。おはよう「がんばっちゃうね」という声かけや、何気ない雑談が仕事のモチベーションになって

います。あとやはり自分が並べた商品をお客様が手にとってくださると嬉しくなりますね。毎月ドリンクをケース買いしてくれるような常連のお客様は覚えているので、声をかけられる前にバックヤードに行き商品を用意することもあります。

一目置かれる対応力

今は商品の発注も任せてもらえるようになりまし。どの商品をどのくらい発注するかはお客様の動向や季節によつて変わっています。例えば、お客様との雑談の中で来月もこの商品をケース買っていくれそう「この商品 人気出るかも」と感じたら多めに発注したり、ドリンクがよく売れる夏場は在庫を増やしたり。たまに予想以上に売れすぎて「もう来ないでくれ」と思ってしまうこともありますが笑。



▲バックヤードでチームの後藤さんと発注の相談。

グロサリーの仕事とは別に、お客様がお買物の後、駐車場やレジ横に置いていたカートやカゴを回収する業務も行っています。

ます。心がけているのは混雑する店内でお客様にぶつからないようにすること。力をさせてしまったら大変ですから回収途中のお客様に声をかけられることも多いので、その時は頭を接客モードに切り替えしっかりと対応するようにしています。

後輩との関わりで成長

2年前に同じ支援学校出身の後輩がグロサリーに配属され、仕事を教える機会も増えました。学生時代、陸上部の副キャプテンを務めていたので、教える立場のプレッシャーには慣れていたつもりでしたが、部活と仕事は違うと痛感しました。特に新人社員の手を任されたときの緊張、プレッシャーは今も良く覚えてます。色々な人がいて、それぞれ指導方法を変える必要もあつたので。上司や先輩に助けてもらいながらなんとか乗り越え、成長につなげることができました。今後は、苦手分野を一つずつ克服しながらさらなる成長を目指したいと思っています。

障がいがあるとは思えないほどしっかりしている清水さん。上司、先輩、後輩の信頼も厚く、グロサリーの必要不可欠な戦力として期待されています。

周りに恵まれ楽しい毎日!

Voice

入社17年目
佐藤 理恵さん
知的障がい
元気で明るく
ムードメーカー



鮮魚部門でパック詰めや値段貼りをしたり、商品の「おからまがし」を作っています。おからまがしはお客様にとっても好評で、自分でもびびりしています。「美味しかったよ」と声をかけられることもあるので、計算が苦手ですが、周りがしっかりサポートしてくれるので助かっています。

※1 醤油・ソースのタレに漬けただけのおからでました入賞商品

豊の国 雇用促進フェスタで表彰経歴あり!



Corporate data



〒879-7306
豊後大野市犬飼町下津屋10番地
TEL.097-579-7455



株式会社リファイン大分
就労継続支援A型事業所ロイヤルウォッシュ



▲社長の宮迫賢太郎さんと、妹で常務の宮迫奈緒美さん

障がい者雇用拡大のために 就労継続支援A型事業所を開設

豊後大野市に拠点を置くリファイン大分の主な業務はリネンサプライ(宿泊施設にシーツやタオルなどのリネンをリースし、使用後のものをクリーニングする業務。約160のホテルや旅館と契約しており、大分県の観光インフラを支える企業のひとつである)としても過言ではありません。他にも介護施設向けの洗濯代行や個人向けの布団丸洗いサービスなど様々な関連事業を展開しています。

そんなリファイン大分の大きな特徴は、関連会社ロイヤルウォッシュが運営する就労継続支援A型事業所以下A型事業所